

# 地域医療の課題を AI で解決する! クリニックにおけるチーム医療の質を高めるための 『生成 AI を活用した 1on1 ミーティング』実証実験

働き方改革が求められる医療業界における AI を活用した新たなマネジメントスタイルを実証

社会医療法人清風會（本社：岡山県津山市日本原/理事長：森 崇文）と AI for Community Health Care Lab（事業責任者：廣川 佳嗣）は、2023年12月から2024年3月までの4ヶ月間、生成 AI を活用した 1on1 ミーティングを清風會のサテライトクリニックで実証実験を実施いたしました。実証実験のレポートについて公開いたします。

【ダウンロード URL】

<https://smc-seifukai.or.jp/wp-content/uploads/2024/04/achlpress20240409.pdf>

地域医療の課題

AIの活用による  
働き方の変革

社会医療法人清風會 × AI for Community Health Care Lab  
実証実験第一弾

## 実証実験サマリー

医療業界で働き方改革が推進される中で、特に地方の医療機関での医療従事者の充足、新規採用の難しさ、業務の多忙さ、医療に対する価値観の多様化など医療マネジメントの難しさが経営課題の一つとして挙げられます。この度はクリニックでのコミュニケーションの新しい形を探るための実証実験を行いました。1つのサテライトクリニックにて4ヶ月間にわたり医療スタッフと看護主任との間で 1on1 ミーティングを実施。その際に医療スタッフがミーティング前の論点整理のために生成 AI を活用いたしました。

### 【実施概要】

期間：2023年12月-2024年3月（4ヶ月間）

対象：社会医療法人清風會 湯郷ファミリークリニック（看護主任1名 医師1名 看護師6名 医事2名）

実施事項：毎月 1on1 ミーティングを設定し、ミーティングの前にスタッフは生成 AI を活用し論点を整理した上で参加

利用ツール：株式会社 Algomatic『シゴラク AI』

### 【仮説と仮説に対する結果及び考察】

仮説	業務以外の上司と相談できる時間を取ること、その際に論点が整理された状態でミーティングができるように生成 AI を活用することが生産性の観点で有効かを検証
結果	アンケート結果により 90%が 1on1 ミーティング自体の実施を有効とし、他の医療機関でも共通する課題に対して意味を見出せるとしている。また AI の活用によってミーティングの内容自体の論点整理や今まで出なかったアイデアの創出などに寄与していることにおいては仮説の立証ができていと判断
考察	医療現場でのコミュニケーション不足に起因する労働意欲減退や退職リスクに対する打ち手として 1on1 ミーティングの推進は有効であると同時に、マネジメント観点でもスタッフが AI を通して自分の考えを深掘りし、アイデアを得るということは今後の働き手が減少する社会における働き方においても可能性が見出せると思う。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

社会医療法人清風會 広報担当：松久 勇輝 TEL：0868-36-3600(内線 373) MAIL：y.matsuhisa@smc-seifukai.or.jp

## [実施のポイント]

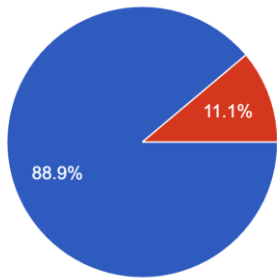
1. 1on1 ミーティングの時間をしっかり確保	毎月実施：一人当たり 20 分/月
2. 業務ミーティングとは分けて実施	プライベートの話からキャリア、仕事の進め方などテーマを多岐に扱う
3. 主体はスタッフ側	会議のオーナーをスタッフとし、スタッフ側からミーティング内容を定義
4. 論点整理のために生成 AI を活用	1on1 ミーティング前に AI を活用し論点を深掘りし整理

## [1on1 ミーティング実施フロー]



## アンケート抜粋

### [MTG における生成 AI の有効性]



- 有効
- 有効性を感しない

#### 有効

上司はミーティング前に問題点や議論すべきポイントを把握することができ、話し合いの時間をより効果的に使い、部下が抱える問題や懸念に対して的確なアドバイスや解決策を提供することができること。

AIとの対話で会話が済み、一緒に考えて頂けるのでよかった

業務の問題点や改善しないといけないことがわかる。話やすさ。

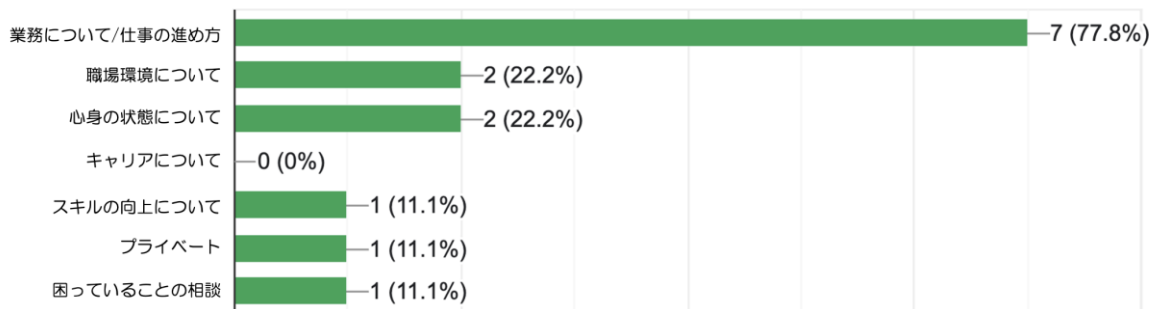
事前に対話があると、自分の課題の糸口が見つかる気がします

話す内容が事前にわかるため早く終わる

#### 有効性を感しない

上司と直接会って話した方が早いと思うから

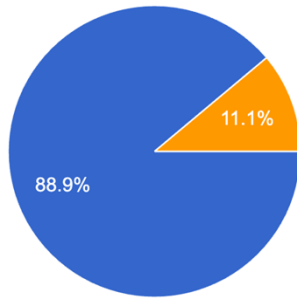
### [1on1 ミーティングはどのようなテーマで行いましたか？]



<報道関係の方からのお問い合わせ先>

社会医療法人清風會 広報担当：松久 勇輝 TEL：0868-36-3600(内線 373) MAIL：y.matsuhisa@smc-seifukai.or.jp

## [生成 AI を活用した 1on1 ミーティングは他の医療機関でも有効と思いますか？]



- 有効
- 有効とは思わない
- ケースバイケース

### 有効

- ・他の事業所でも同じ悩みや課題を抱えていると思うから。
- ・業務効率化やアイデア・プライベートでも利用できる。
- ・1on1ミーティングというものの運用ルールをきちんと決めた上での活用なるとAIの解析能力と人間の感情や直感、そして現場での経験といった要素との組み合わせを最大限に活用することに繋がるようになれば有効になると考えられる。
- ・色々な回答が返ってくるので面白いし参考になりました。
- ・問題となっていること、改善策と一緒に考えることができる。関係作り。
- ・まだ十分に理解できてはいるが、活用することで個人の役割・課題なども明確になる気がする

### ケースバイケース

- ・AIに聞くこと自体時間をとられるので

## 今後の展開

社会医療法人清風會では今回の実証実験を始まりとし、清風會全体での AI プロジェクトを立ち上げます。この度の生成 AI を活用した 1on1 ミーティングの展開だけでなく、より良い医療を実現するための AI 活用を推進してまいります。今回の実証実験で得たノウハウについては AI for Community Health Care Lab にて他の医療機関様へも積極的に提供してまいります。人口減少を前提とした未来の医療機関を目指すべく、医療現場の課題を解決する AI ソリューションの導入、プロダクト作りを推進してまいります。

### AI for Community Health Care Lab 事業責任者 廣川佳嗣コメント

医療現場の課題を AI の力で解決していくチャレンジの第一弾としてこの度の生成 AI を活用した 1on1 ミーティングの実証実験に取り組みました。サテライトクリニックの皆様には短期間で AI の特性を掴んでいただき、1on1 ミーティングの実施をいただき感謝しております。人手と時間がない中で AI を活用し医療現場をより良いものにするという事例をつくることができました。AI for Community Health Care Lab では今後も様々な医療現場での課題を解決する実証実験やサービス創りを推進してまいります。



### 社会医療法人清風會 理事長 森崇文コメント

チーム医療においては、患者さんの申し送りを始めとした業務上の伝達はできても、お互いの考えを十分に知るための対話は疎かになりがちです。また、メンバー個々人の特性や感情などがコミュニケーション上のエラーを招くこともあります。今回、生成 AI を活用した 1on1 ミーティングを行うことで、限られた時間の中でもお互いをより良く理解し合いながら目的意識を持ったコミュニケーションを行うことができました。生成 AI の活用はチーム力を高めることができる可能性があります。今回の検証実験中に現場から出てきた様々な活用のアイデアも活かしながら今後も活用シーンを増やしていきます。



<報道関係の方からのお問い合わせ先>

社会医療法人清風會 広報担当：松久 勇輝 TEL：0868-36-3600(内線 373) MAIL：y.matsuhisa@smc-seifukai.or.jp

## 株式会社 Algomatic シゴラク AI カンパニーCEO 池田 晴紀 様 コメント

今回、Algomatic は法人向け ChatGPT「シゴラク AI」とプロンプトの雛形を提供させていただきました。多忙な医療現場における業務改善の一助となれたことを大変嬉しく思います。弊社は多くの法人様を支援した経験から、医療業界は生成 AI 導入のハードルが高いと認識しています。そんな中、清風會様の取組は非常にうまく生成 AI を取り入れた成功事例の一つとなりました。皆様の先見性と実行力に心から敬意を表するとともに、この取り組みが広がり、業界全体の課題解決が進んでいくことを期待しております。我々も、より一層お役に立てるよう、機能開発とプロンプトエンジニアリング技術の向上に尽力してまいります。



## AI for Community Health Care Lab について

「よりよいチーム医療を行う環境を AI の活用でアップデートし、地域医療の持続的発展に寄与する」をミッションに 2023 年 9 月より立ち上げられたプロジェクトです。この度の実証実験のプロデュースを行っております。医療業界と IT、AI 業界を繋ぎ、またサービス設計やプロダクト開発を行ってまいります。

### 【プロジェクト概要】

プロジェクト名：AI for Community Health Care Lab

事業責任者：廣川佳嗣

事業内容：医療機関向けに AI 活用の提案や実証実験、プロダクト開発

HP：<https://www.aiforchclab.com/>

## 社会医療法人清風會について

社会医療法人清風會は岡山県津山市に位置し、家庭医療とリハビリテーションを軸に、病院、診療所、介護施設などの医療・福祉サービスを提供しています。

「住み慣れたまち。ここで、一緒に、自分らしく。」という法人理念をかかげ、住み慣れた地域での生活を継続するためのリハビリテーション、0 歳から 100 歳まで家族ぐるみの支援をする家庭医療、365 日 24 時間対応をする訪問診療を行っています。患者さん・利用者さんが自分らしく生きていくための「自律の支援」を行い、チーム清風會として連携・連鎖し地域に密着した「医療と介護の新しいカタチ」を目指しています。

### 【会社概要】

社名：社会医療法人 清風會

本社所在地：岡山県津山市日本原 352

理事長：森 崇文

設立：1956 年（昭和 31 年）

事業内容：家庭医療とリハビリテーションを軸に、病院、診療所、介護施設などの医療・福祉サービスを提供しています。

HP：<https://smc-seifukai.or.jp/>

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

社会医療法人清風會 広報担当：松久 勇輝 TEL：0868-36-3600(内線 373) MAIL：[y.matsuhisa@smc-seifukai.or.jp](mailto:y.matsuhisa@smc-seifukai.or.jp)